



二俣川小だより

10月号

横浜市立二俣川小学校 令和元年9月26日
発行責任者 校長 池田 千晶



プラスの「気」

池田 千晶

「おはようございます。いってらっしゃい!」

今までも地域の方々に子どもたちの登下校の安全を見守っていただいておりますが、8月27日の朝からは声が一層大きく響いています。本校では、グリーンベストのみなさんが、子どもたちの登下校の安全を見守ってくださっており恵まれた環境にあります。そこで、子どもたちが朝のスタートを今より一層爽やかにスタートできるように、裏門のみならず、正門にも地域の方々のご協力をいただけないか、学校運営協議会や二俣川地区連合自治会で、相談させていただきました。心強いことに、二俣川1丁目、南仲尾、本村中央の自治会の方に、協力していただけることになりました。それが、8月27日からスタートしたのです。はじめは、下を向いて歩いてきた子どもたちの視線が、少しずつ上向きになり、声も出てきました。立ってくださっている地域の方が、「電子錠とかの防犯もいいけれども、こうして地域の大人の顔なじみになり、多くの目があることが、一番の防犯なんだ。」とおっしゃっていました。そのような地域の方々の想いを受けて旭警察署の少年係の方々も子どもの健全育成のために朝の声かけ運動に賛同して参加してくださっています。



私は、このような気持ちで子どもに関わってくださることに感謝の念でいっぱいであると同時に、これが安全・防犯、そしてもう一つの価値があると思っています。それは、子どもたちにプラスの「気」を放っていてくれて、漢方薬のようにじわじわと効いてくる効果です。先日、ふと見た記事に朝の声かけ運動に共通する内容で「プラスの『気』を放つ」ということが載っていました。私たちは、明朗な人と接すると、気力が得られて、落ち込んだ気持ちも明るくなることがあるという内容です。地域の方の子どもを思うプラスの「気」に背中を押されて、一日がスタートします。

10月は土曜参観をはじめ、キラキラ展もあります。多くの方々がプラスの「気」で子どもの頑張る姿をみて、背中を押す言葉をかけていただければと思います。職員もプラスの「気」で教育活動に取り組んでまいります。引き続き、ご理解・ご協力よろしく願いいたします。